

白川郷の合掌造り



第 28 号

令和8年3月31日

発行 (一)世界遺産白川郷
合掌造り保存財団
岐阜県大野郡白川村荻町
2495番地の3
TEL:05769-6-3111

『世界遺産合掌造り』保存継承に向けた

茅の供給の現状と今後の地域の結束

白川郷合掌家屋保存組合 組合長 川田 一 浩

白川村で使用される茅は、一部の住民により村内を中心に主体的に確保しようとする取組みがなされているものの、その八割は御殿場産が占めています。村内では、わずかに残った個人所有の茅場で棟つつみ用などとして小規模に保全されていますが、大規模茅場で機械による刈取りも進められています。具体的には、高速道路の残土で整備された馬狩茅場を始め、合計六・

八六ヘクタールの村内茅場で刈取したり、御殿場自衛隊演習場に向き許可を得て刈り取っています。この機械刈は令和三年度に合掌造り保存財団で導入された茅刈機を用いて、黒木雄太氏や川田晋也氏が中心になり令和四年度から行われています。

このうち、馬狩産の茅のほとんどは棟茅や差し茅に使われますが、御殿場産の茅は背が高く真つすぐなものが多いため屋根根そのものの葺き替えに大量に使用されており、村が調達できる総量が減少傾向にあるなか、御殿場産の茅への依存度はますます高まっています。

こうした現状を正しく把握するため、一議員及び合掌家屋保存組合長として御殿場の茅刈作業に参加してきました。二回目となる昨年末は、茅確保の困難さを組合員の皆さんに現地で見え理解を深めていただきましたこと



前に参加を呼び掛け、二名（松古茂雪氏、山本吉志明氏）に参加いただきました。初日は機械で刈った茅を麓の茅置き場まで軽トラで運ぶ仕事を担い、翌日はこの季節には珍しい大雨に見舞われたため、小屋の中で茅を大束に製品化する「束ね直し」作業に従事しました。富士山の麓に一面にスキが広がる現地はSNS映えする最高のロケーションですが、不発弾注意や戦車道など物々しい看板が点在し、自衛隊の演習場であることを再認識させられました。幸い怪我もなく収穫から大束の製品化まで携わることができましたが、白川から四名の応援があったとはいえず運送費や人件費、燃料費や滞在費など多くの経費が必要となってくることを考えると、大変な作業に見合わず極めて苦しい収支となることを再認識させられました。

現地滞在中には、地元で茅を収穫しているご老人に幸いにも話を聞く機会を得ました。しかし「一人で中束約二、五〇〇束／年を刈り取っているが、こんな大変な仕事を地元の若い人は好んでやらない。高齢化が進んで



担い手が減る一方だ。今後は御殿場の茅の収穫量はますます減っていくのが目に見えている。」と大変厳しい現状を教えてください。白川郷に迫る「茅不足の未来」に改めて大きな不安を感じました。白川郷の屋根葺きには年間約二万束が必要ですが、御殿場から供給できる量がおよそ一万束（年々減少）という制約から、最近の屋根葺きは年三棟程度に制限されるほど、御殿場産の茅に大きく依存しているのが実態です。この現状を踏まえると、今後も茅の安定供給のための継続的な収穫支援を進めていく必要性を強く感じます。さらに、馬狩の茅場も土壤改良や茅の一時保管場所の不在など様々な問題を抱えており、多方面から解決に向けて取り組んでいく必要があります。

集落の家々には小茅（カリヤス）場が山の中腹にあって、秋に刈り取った茅を春の雪解け前に一本ソリで集落に下ろし、ニューウを組んで茅を大切に保存してきた文化があります。菅沼や相倉では、今でも先祖から受け継がれてきた茅場を、地域住民自らが下草刈りから秋の茅の収穫まで一年を通じて手入れを行うことで良質の茅を手に入れているとのこと。白川村でも失われたカリヤス茅場の復興を試みることは、良質な茅の自給率の向上にも繋がることから、昔からの貴重なカリヤス茅場の復元に向けて各方面に協力いただきながら少しずつ歩み始めているところです。

以上のように、白川郷は当面の間、御殿場産の茅に依存せざるをえないことは間違いなく、御殿場からの安定供給を確保するための人的、財政的な取組みが必要と強く感じます。このため合掌保存組合としては、合掌造りの屋根の葺替を近々予定している組合員を中心にお声掛けし、村内や御殿場茅場の現状を現地で理解してもらええる場を用意し参加を促していきます。また、合掌造り集落の未来永劫の保存継承と、合掌保存組合員・地域・村全体のそれぞれの結束に向け、持続的な展開に取り組んでいきます。併せて白川村や合掌造り保存財団など関係機関のご支援やご協力をいただきながら、合掌造りの保存に向け、少しずつでも前へ前へ邁進していききたいと決意を新たにしています。

せせらぎ公園駐車場 大規模改修工事(前半)終了 利用料金を全車種値上げ

令和7年6月から9月末まで行っていた駐車場大規模改修の前半、普通車スペースが完成し、10月から通常営業を再開するとともに、利用料金を全車種値上げしました。令和8年6月からはバス枠の改修工事が始まります。小呂交差点付近で渋滞が発生するなど再びご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。



せせらぎ公園駐車場のバス枠、予約制スタート！

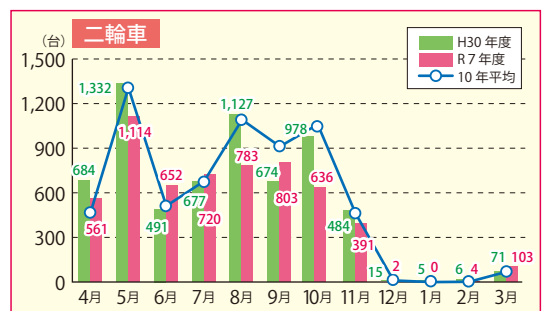
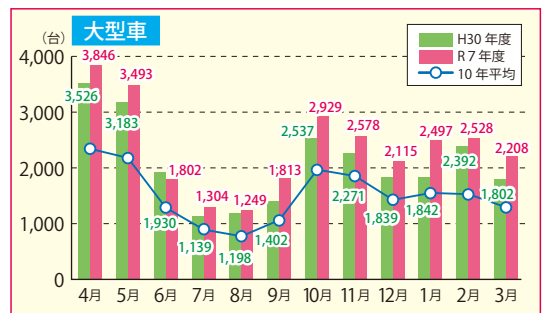
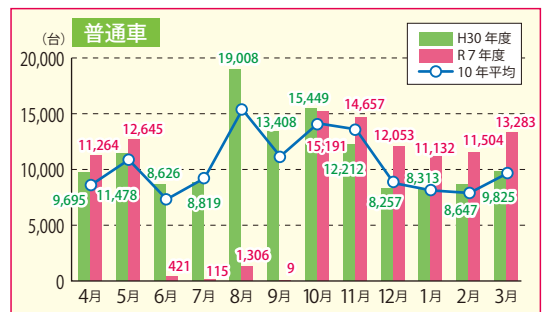


令和8年12月1日利用分(予約は6月1日)から駐車場バス枠の事前予約制を導入します。現在はバスが満車になった場合、駐車場の中には入れず待機をお願いしています。事前に予約していただくことで多くのお客様がストレスなくスムーズに観光することができます。入庫可能な台数の中で効率的にバスの台数をコントロールし、普通車枠にもバス枠を振り分けるなど弾力的に運用していきます。また、受入客数の適正化により、世界遺産合掌集落内の混雑緩和を目指していきます。

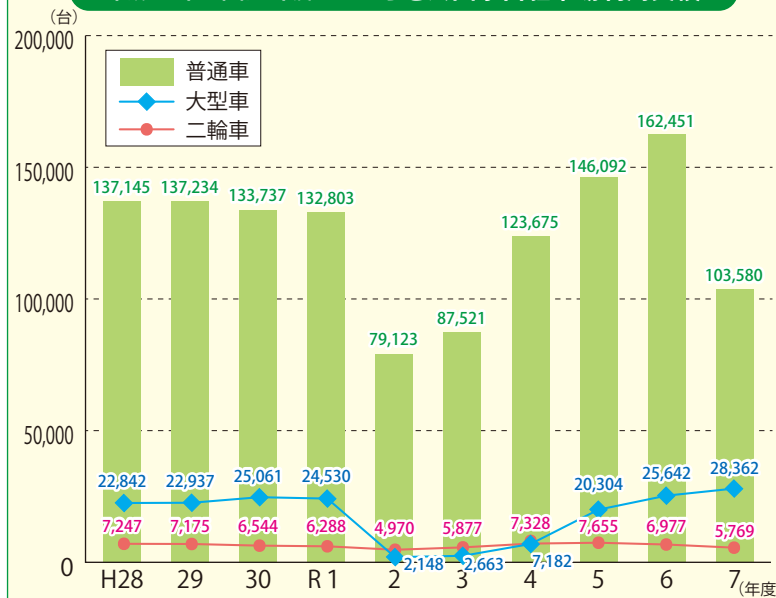
大型車は過去最多！暮らしにも大きく影響か

令和7年度せせらぎ公園駐車場の普通車利用台数は改修工事のため103,580台となり、過去最多だった令和6年度162,451台を36.2%と大きく下回った一方で、大型車は28,362台と令和6年度の25,642台を10.6%上回り、過去最多を更新する結果となりました。なお、みだしま・寺尾駐車場の台数も加算すると3駐車場の合計で普通車は227,246台(前年度245,090台)、二輪車は6,563台(同7,894台)となり減少していますが、ゴールデンウィークなど繁忙期は、せせらぎ公園駐車場からインター入口付近まで渋滞し、集落内は人込みで車の往来がままならない状況となっています。合掌集落のみならず白川村全体の暮らしにも影響の大きいこうした現状はここ数年続いており、今ある駐車場を効率よく最大限に運用しつつ、新たな解決策を生み出していく必要があります。少しずつではありますが住民・観光客の満足度向上を目指し、村をはじめ関係団体と連携しながら、今後も検討を重ね対策を進めていきます。

過去10年間の月別平均比較



平成28年～令和7年度 せせらぎ公園小呂駐車場利用実績



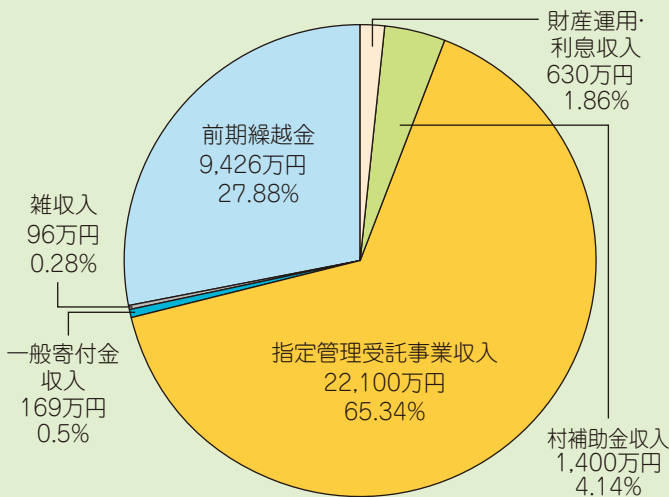
…一般財団法人世界遺産白川郷合掌造り保存財団…

令和7年度

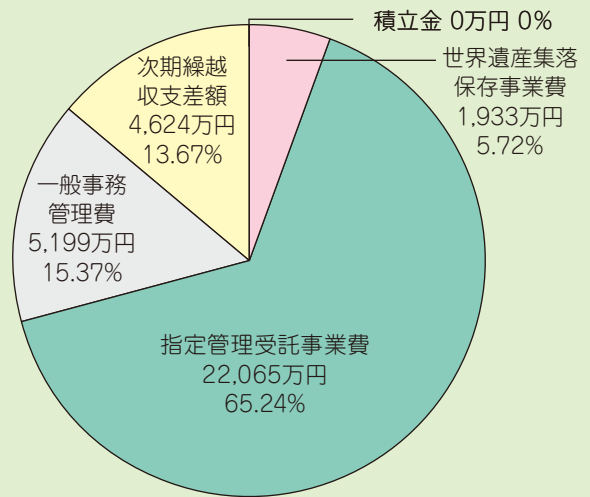
会計のあらまし

～財団の収入と支出の会計状況についてお伝えします～

歳入 3億3,821万円



歳出 3億3,821万円



令和7年度の実施事業

1. 修理事業	4,125,000円
差し茅	8棟 419,000円
伝統的建造物修理	1棟 570,000円
棟茅葺替	88/108棟 2,802,000円
トタン屋根葺替	1棟 334,000円
2. 修景事業	4,657,992円
修景協力費助成	5棟 2,946,000円
トタン屋根葺替	2棟 1,276,000円
ビニールシート指定色奨励事業	21棟 253,840円
一般建築物茅屋根補修	棟茅4棟 118,000円
オダレ助成	8枚 64,152円
3. 地域活性化事業	3,951,156円
自治保存会活動費助成	1,000,000円
自治保存会育成事業	0円
人材育成事業	結助成1棟 496,661円
茅の自給率向上施策と調査研究	2,454,495円
4. 水田復旧事業	792,150円
復旧農地の維持管理・活用	水田42.5a、畑0.7a 792,150円

合 計 13,526,298円

財源内訳

村補助金	13,000,000円
基金運用利息	526,298円

合 計 13,526,298円

当財団は世界遺産の合掌造り集落を保全し、後世に残していくための公益事業を行っており、主な経費は村営駐車場の指定管理業務における利用料収入を財源とした委託料で賄われています。

財団設立当初よりせせらぎ公園駐車場と、付随する総合案内所の管理運営を行っており、近年はみだしま・寺尾駐車場もあわせて効率的に駆使することで、繁忙期の渋滞緩和に努めています。

駐車場の利用料金は財団を通じて村に収納された後、指定管理料として財団の歳入となり駐車場や施設の維持管理費に充てられます。また、世界遺産（伝建保存）地区の修理・修景助成、地域振興策等にも充てられ、事業計画に即して村から補助金として歳入されます。

令和7年度のせせらぎ・みだしま・寺尾駐車場の利用料収入総計は、10月1日からの利用料金値上げに伴い大幅に伸び、5億3,057万円（キャッシュレス決済含む 前年対比64.3%増）となりました。また指定管理料2億1,100万円、集落整備事業及び運営費補助金1,400万円を村からの歳入とし各事業を実施しました。

なお、現在の基金の合計額は、大規模修繕工事のため令和6年度末に一部を取り崩し6億5,330万円となっています。財産運用利息収入は昨年度より若干多い631万円となり、財団の貴重な財源として集落保存事業を中心に活用されています。

財団が保持している基金の現在額(令和8年3月末)

基本財産	302,361,000円
特定資産	350,943,373円
合 計	653,304,373円

るために…

水田復旧事業

合掌財団では平成16年度より荻町集落の景観を守ることを目的に、白川郷学園の児童の皆さんとサツマイモ畑づくりや休耕田での稲作を行っています。田植え後には水田協力隊による間差しのお手伝いもいただいています。

令和7年度 白川郷学園2年生との
サツマイモづくり

6月4日
苗植え



まずは展望台から見た写真を使ってなぜここにサツマイモを植えるのかを学んでもらいます。休耕田になっているときの写真と、この事業を始めてからの写真を見比べて、田畑の緑の景色がどれだけきれいに見えるか、観光客はどう感じるかを想像してもらいました。

今回も苗100本を用意しました。当日は天気も良く過ごしやすい気候ということもあり、児童の皆さんと楽しみながら植えることができました。お友達と『おいしいお芋が育つといいね』と植えている様子を見て、景観が良くなることはもちろん、おいしいサツマイモが収穫できることを願いました。皆さんで協力して植えたおかげであっという間に植え終わることができました。

最後に児童の皆さん自前のペットボトルじょうろで愛情をこめて苗にしっかりと水をやり無事作業を終えました。その後、皆さんは歩いて展望台に元気に上がり、サツマイモを植えたところを含め景色を確認していました。



9月16日
畑の草取り



今回は児童の皆さんに草取りもお願いしました。畑に到着後、サツマイモが見えないくらいに一杯のびた雑草を見て児童の皆さんは『どれがサツマイモかわからない!』ととても驚いていました。雑草を根っこまでしっかり抜くことでサツマイモがより成長しておいしくなることを教わり、日差しが強い中、草取りを始めました。簡単に抜ける雑草もありましたが、中にはしっかりと根が張ったものもあり、それを友達と協力しながら一生懸命に抜いていきました。それぞれが真剣に手際よく作業したおかげか、あっという間に畑を覆い隠していた雑草はなくなり、その代わりに田んぼと畑の畔には雑草の山がいくつもできていました。早く作業を終えられたので児童の皆さんはバッタやトンボとふれあった後、嬉しそうに荻町の散策をして学園へ帰って行きました。

10月29日
サツマイモ掘り



気持ちよく晴れた収穫当日の朝、待ちに待ったサツマイモ掘りに元気にやってきてくれました。それぞれに掘る準備をした後、サツマイモを折らないように焦らず丁寧に掘っていくことを習って掘り始めました。熱中して真剣に掘り進める子、友達と協力してワイワイキャキャと大きいサツマイモを掘っていく子…それぞれにとっても楽しく引き抜いてくれました。『こっちにまだあるかも!』『見てみて! まだここにこんな大きいのがあったよ!』と畑のすみすみまで掘ってくれました。今回は大小さまざまなサツマイモを2箱、収穫してくれ児童の皆さんも大満足でした。

立派なサツマイモを採ったあとは、サツマイモのツルでリース、ネックレス、髪飾り、スカートなどを製作しました。作った後は写真撮影! 児童の皆さんでカメラの前でポーズを決めファッションショーをしてくれました。

こうして今年も、苗植えから草取り、収穫まで児童の皆さんだけではなく、職員もとても楽しみながら景観を保全することができました。ありがとうございました!



田植え・稲刈りを
お手伝いしたい方大募集中!!

ぜひ一緒にやりましょう!

財団が耕作している田んぼは機械が入らないところは手植えで大変ですが、毎年皆さんに頑張ってもらっているおかげでとても助かっています。これからもご協力よろしくお願いします!

世界遺産集落内の景観を守

世界遺産集落内にありながら相続人が不存在となり危険空家化が懸念される西下組の家屋解体は、本年度2月までにすべて完了しました。集落内の景観を維持するため当財団が解体処分を岐阜地方裁判所に申し立て、令和6年度から手続きを進めてきました。要した費用は、内部残置物撤去や解体撤去で約760万円、弁護士報酬55万円、事務費で約11万円となります。本件は当財団の資金とはいえ多額の公費を投入することから、解体後の土地で将来的に公的な事業を実施する際には地権者からの積極的な無償協力を得ることなどについて覚書を取り交わしたところです。また、跡地については西下組における共同車庫のモデル事業候補地として期待されており、今後地域や村教育委員会などと調整していくところです。



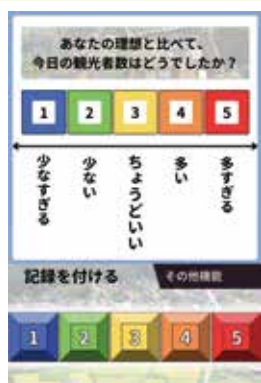
家屋解体作業の様子

この他、世界遺産集落内の「農地」に限定して、その土地の管理（耕作できうる者への名義変更）について当財団で景観保全のために申し立てており、少しずつ取組みを進めているところです。

今回のようなケースはこれまで稀有であったものの、今後は同様の事例が村内各地で起きうるものとも考えられます。空家や空地などについて少しでも不安をお持ちの方は、自分の考える以上に早い時点から、解消に向けた動きに着手されることを強くおすすめします。また、守る会や荻町構想計画会議でもこうした課題解決を図る取組みを進めていますのでお気軽にご相談ください。

住民と観光客
にとって

「ちょうどいい」入込数ってどれくらい？



▲【感じ方データ収集システム】(LINEの友達追加で協力ください)

白川郷へのちょうどいい入込数を数値化してその傾向を分析・予測し、リアルタイムの混雑緩和策につなげることを目的として、当財団では名古屋大学・大学院情報学研究科との間で令和6年度から研究を少しずつ進めています。守る会や観光客などにもご協力いただきながら分かってきたことは、村営の3駐車場に訪れる客数換算約5,800人（バスターミナル利用者をのぞく推計）で住民は混雑を感じ始め、冬期はこ

れより千人少なくとも混雑を感じるようです。また、AIカメラによる車両番号標識の分析結果から、今年3月の平均滞在時間は2時間7分、最大滞在時間は29日の8時間4分であったことなどが分かりました。今後も皆様のご協力をいただきながらデータ収集を継続し、持続可能な世界遺産集落づくりに向けた方策の検討と実践を進めていきます。



次世代の遺産保存につながる人づくり活動

人材育成事業

集落の伝統や景観を次の世代へつなぐため、平成16年度から白川郷学園の合掌造りの仕組みについての学習のサポート、平成26年度から田畑づくりに関する肥料や苗・種の助成を行っています。

白川郷学園への助成

今年度はじゃがいも、オクラ、朝顔、ひまわり等の野菜や花の苗、必要な肥料代を助成しました。



世界遺産白川郷合掌集落 保存基金について

皆様からいただきましたご厚志に心より感謝申し上げます。ご協力いただきました皆様をご紹介いたしますとともに、合掌基金募金の総額をお知らせします。

寄付・募金総額：3,689,306 円

※いただいたご厚志は、世界遺産集落の保存のために大切にに使わせていただきます。

令和7年度にご協力いただいた皆様（敬称略）

個人・企業の皆様

岐阜県 株式会社林工務店
東京都 眞田 實
愛知県 伊藤 敦子
岐阜県 谷口 紘久
兵庫県 西本 喜久子
東京都 公益財団法人
日本ナショナルトラスト
愛知県 宇佐美 邦仁
岐阜県 株式会社三輪酒造
滋賀県 株式会社文教スタジオ
埼玉県 株式会社富士住建
愛知県 株式会社日本旅行
中部企画・仕入センター

合掌基金募金箱

国重文 和田家
ふる郷 長瀬家
神田家
県重文 明善寺
美然ゆめろむ館
白川郷の湯
城山館
トヨタ白川郷自然学校
民宿 十右エ門
民宿 志みづ
民宿 のだにや
民宿 久松
民宿 ふるさと
民宿 きどや
民宿 幸エ門
民宿 与四郎
民宿 利兵衛
民宿 一茶
民宿 かんじゃ
民宿 山本屋
民宿 孫右エ門
民宿 文六
民宿 源作
民宿 よきち
民宿 わだや
民宿 伊三郎
民宿 大田屋
花鳥風月
お食事処 忠兵衛
基太の庄
白楽
今昔
心花洞
文化喫茶 郷愁
喫茶 狩人
花水木
結の郷
いっぶく ちな
飛騨路
手打ちそば処 乃むら
しらおぎ
落人

しあわせ屋 吉兵衛
たなか屋
けやき
ぜん
味処 ゆきんこ
与ぜ
白水園
いろり
喫茶 さとう
城山天守閣
てんぼうだいのカフェ
どっこらしよ
あらい
喫茶 千晴
ます園 文助
柊
コーヒー屋 鄙
合掌
そば脇本
盛善
恵びす屋
おいしんぼ
かたりべ
白川郷ぶりの家
おけさ
合掌庵
ぜん助家
てづか民芸品店Neo
佐藤民芸品店
今藤商店
こびき屋柿の木店
めめんこ
こびき屋
古太神
道の駅白川郷
合掌造り民家園
白川村役場
白川郷バスターミ
ナル（観光協会）
寺尾駐車場
であいの館

ご寄付ありがとうございます

現在、店舗に合掌基金募金箱の設置がなく新たに設置を希望される方や破損等で交換を希望される方がいらっしゃいましたら、当財団までご連絡ください。



合掌基金にご理解とご協力をお願いします

当財団では、合掌造り集落の保存と集落内の住民の暮らしを守るため、合掌家屋の修理や集落の修景などの景観保全に関わるさまざまな課題に対し事業を展開しています。これらの事業は、基本財産から生じる運用益だけでまかなうにははるかに及ばない状況であり、岐阜県の助成や、白川村より補助金をいただき事

業展開しています。昨今の社会情勢の変化に伴い、事業も多様化しており、責任も一層増大しています。

このような課題にできるだけの確に対応できる体制を整えることが、世界遺産合掌集落の保存に欠かせない条件です。この趣旨にご賛同いただき皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

基金に対する ご寄付お送り先 及び資料請求先

●振替による場合

【口座名義】世界遺産白川郷保存基金
・郵便振替口座 00810-6-51954
・飛騨農業協同組合
白川支店（普）9203800

●現金書留による場合及び資料請求先

〒501-5627 岐阜県大野郡白川村荻町2495-3
（一財）世界遺産白川郷合掌造り保存財団
TEL (05769) 6-3111 FAX (05769) 6-3113
★インターネットでも受け付けています。
<https://www.vill.shirakawa.lg.jp/zaidan/>

駐車場の大幅な改修の前半が終わり普通車で来村される観光客の皆様が快適に駐車できるスペースを提供できるようにになりました（P2参照）。また次年度においても改修工事を行い多くの観光客の皆様がより快適に利用いただけるスペースにできればと願っています。そのため、駐車場の誘導ひとつをとっても、より皆様に安心・安全に駐車していただけるよう、今年度は駐車場誘導員（シルバー人材センター）からの派遣職員及び嘱託職員を対象とした「接遇研修」を2回開催しました。駐車場周辺の誘導をお願いしている警備員から実務的な誘導方法を指導いただき、わかりやすく丁寧な案内の手法などを改めて学んでもらい応対スキルの底上げを図りました。次年度においてもこのような研修などを通じて駐車場を利用される皆様が気持ちよく過ごせるような取り組みを進めていきます。

また、昨今、人材不足や高齢化、気候変動が深刻な問題になりつつありますが、当財団にとっても例外ではありません。駐車場でも働くシルバー人材センターから派遣される方なども高齢の方が多いと、心身共に負担が大きく働きやすい環境となるよう、次年度以降も試行錯誤を重ねながら、より良い取り組みを進めていきます。

編集後記